

メサイア

HÄNDEL'S MESSIAH

(財) 茨木市文化振興財団第31回公演

茨木市合唱連盟25周年～オーケストラと大合唱の夕べ
オラトリオ《メサイア》



堤 俊作



岡坊久美子



藤川賀代子



林 誠



田中 勉

●出演

指揮：堤 俊作(茨木市出身)
TSUTSUMI Shunsaku, Conductor

ソプラノ：岡坊久美子
OKABO Kumiko, Soprano

アルト：藤川賀代子
FUJIKAWA Kayoko, Alto

テノール：林 誠
HAYASHI Makoto, Tenor

バリトン：田中 勉
TANAKA Tsutomu, Bariton

管弦楽：関西フィルハーモニー管弦楽団
Kansai Philharmonic Orchestra

合唱：茨木市合唱連盟メサイア合唱団
Ibaraki Federation of Chorus "MESSIAH CHORUS"
〈合唱指導：磯野 清(茨木市合唱連盟会長)〉

●入場料

1階席=4,000円

2階席=3,000円

※24歳以下、65歳以上、障害者及び
その介護者は各料金から500円引き
※全席指定席

●チケット販売所(1/15発売)

(財) 茨木市文化振興財団 ☎0726-25-3055

ローソンチケット ☎06-6387-1900 [コード:56503]

チケットぴあ ☎06-6363-9999

●お問い合わせ

(財) 茨木市文化振興財団 ☎0726-25-3055

〒567-0888 茨木市駅前四丁目6番16号

クリエイティブセンター1階

月～金・9:00～17:15(土・日・祝日は休業)

●主催

財団法人茨木市文化振興財団
茨木市合唱連盟

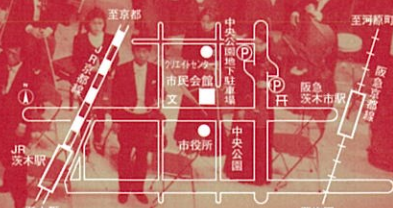
2001年

3・31

[土] 18:00開演(17:30開場)

茨木市市民会館(ユーアイホール)大ホール

茨木市駅前四丁目7番50号 ☎0726-23-3962



JR 茨木駅から東へ徒歩10分、阪急茨木市駅から西へ徒歩10分

オラトリオ メサイア

● 2001年3月31日(土) 18:00 ● 茨木市市民会館(ユアアイホール) 大ホール

● 1階席 4,000円 / 2階席 3,000円 ● 24歳以下、65歳以上、障害者及びその介護者は500円引き ● 全席指定席

主催 ● 財団法人茨木市文化振興財団／茨木市合唱連盟

PROFILE



堤 俊作 指揮 TSUTSUMI Shunsaku

茨木市立中条小学校・養精中学校卒業。1970年、桐朋学園大学を首席で卒業。指揮を斎藤秀雄に師事。1972年、東京交響楽団でデビュー、1973年から1977年まで正指揮者を務める。1974年、ロンドン・ルパート指揮者コンクール第3位。1978年、ジュネーブ国際音楽コンクール指揮部門で優勝。1975年、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団を創立し、1992年まで常任指揮者、1988年から1992年まで札幌交響楽団専属指揮者も兼務。海外でも、ロンドン交響楽団、スイス・ロマン管弦楽団等に客演。また、1991年3月にはズビン・メータの代役としてベネズエラ国立シモンボリーバル交響楽団に客演、4月には同交響楽団を率いて日本公演を行い、東京、名古屋、大阪、神戸の4都市で大成功をおさめた。1988年エディンバラ音楽祭、1991年松山バレエ団アメリカ公演、1992年北京、上海公演、1992年・1994年・1996年、レニングラードバレエシアターを指揮するなど、わが国においてはバレエ音楽の第一人者である。1993年、ロイヤルチェンバーオーケストラを創立し、これを母体に1997年デビュー25周年の年にロイヤルメトロポリタン管弦楽団を組織する。ロイヤルチェンバーオーケストラ・ロイヤルメトロポリタン管弦楽団音楽監督、梓室内管弦楽団音楽監督、静岡交響楽団音楽監督、桐朋学園大学講師、岐阜国際芸術祭芸術監督、牧阿佐美バレエ団音楽監督、井上バレエ団音楽監督、東京シティ・フィル桂冠指揮者、大阪市音楽団芸術顧問・首席指揮者。



岡坊久美子 ソプラノ OKABO Kumiko

相愛女子大学研究科修了。1987年から1年間文化庁派遣芸術家在外研修員として西独に留学。1982年、霧島国際音楽祭「コン・ファン・トゥッテ」のドラペラでオペラデビュー。以降「フィガロの結婚」「メリー・ウィドー」「こうもり」「魔弾の射手」「タンホイザー」「ワルキューレ」「ナクソス島のアリアドネ」等で活躍。その役柄と容姿が見事に一致した好演は高く評価されている。各種演奏会はベートーヴェン「第九」、モーツァルト「レクイエム」等のソリストをつとめるほか、オペラ・ガラ・コンサート等でも各地で好評を得ている。なかでも、1996年東京交響楽団の創立50周年記念「ワーグナー・ガラ・コンサート」に出演、絶賛を博した。1993年咲くやこの花賞受賞。現在、その活動が最も注目されているソプラノ。関西二期会会員。



藤川賀代子 アルト FUJIKAWA Kayoko

ヴェルディ「ドン・カルロ」のエボーリ姫でデビュー、その後「リゴレット」「トロヴァトーレ」「カルメン」などたて続けに主役を演じ、関西歌劇団・創立40周年記念公演「アイダ」ではアムネリス役で、1994年6月、同創立45周年記念公演「カルメン」でも好演した。また、「第九」「メサイア」「レクイエム」等のソリストとしても活躍。1980年度文化庁派遣芸術家在外研修員としてミュンヘンに留学、研修修了後再び渡欧、ミュンヘン及びミラノで研鑽を積み、1984年帰国。大阪音楽大学卒業、同大学院修了。樋本栄に師事。現在、大阪芸術大学助教授。



林 誠 テノール HAYASHI Makoto

1971年日伊声楽コンクールソシエナ大賞、1972年音楽コンクールで第3位。1971年関西歌劇団公演「カバレリア・ルスティカーナ」のトゥリッドウでデビュー。その後たて続けに主役を演じた。1976年大阪文化祭賞、大阪府民劇場賞、音楽クリティック・クラブ賞を受賞。1979年大阪文化祭賞を再び受賞。1981年には東京で、創立100周年のために来日した小澤征爾指揮ボストン交響楽団の第九公演にソリストとして出演し、声価を高めた。1982年東京でのリサイタルや、大阪でのリサイタルで邦人作品を積極的に取り上げるなどの活躍に対し芸術選奨文部大臣新人賞を受賞。その後、小澤征爾プロダクションオペラ「ホフマン物語」「スベードの女王」「サロメ」等に主演。現在、大阪音楽大学教授。



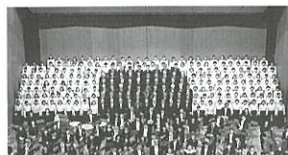
田中 勉 バリトン TANAKA Tsutomu

大阪音楽大学大学院修了。第22回「なにわ芸術祭」奨励賞、第20回音楽クリティック・クラブ賞を受賞。オペラは「スザンナの秘密」「イタリヤのトルコ人」「フィガロの結婚」等の主役を好演、1989年大阪音大ザ・カレッジ・オペラハウス柿落とし公演の「ファルスタッフ」で好評を博す。1991年文化庁派遣芸術家在外研修員としてウィーンに留学。関西歌劇団創立45周年記念公演「リゴレット」や「トゥロバトーレ」「アイダ」「創作オペラ・行く河の」「ベルリンの月」等で好演。1999年秋、関西歌劇団「ファルスタッフ」ではタイトルロールをつとめ好評を博す。全国各地・各オーケストラの第九やオラトリオ、オペラのソリストなど、日本のホープとして活躍中。大阪音楽大学助教授、関西歌劇団理事、日本シューベルト協会同人。



関西フィルハーモニー管弦楽団 Kansai Philharmonic Orchestra

1970年ヴィエール室内合奏団として発足。後にヴィエール・フィルハーモニックと改称、1982年1月海外演奏旅行を含め12年間にわたるオーケストラ活動を基盤に、関西フィルハーモニー管弦楽団として新発足。以来、関西を中心に活動を続け、今では年間150回を超える演奏会に出演する関西を代表するオーケストラの一つとなった。楽団主催の定期演奏会や特別演奏会では毎回意欲的なプログラムに挑み、その質の高い演奏とともに注目を集め、特に1994年11月の第106回定期演奏会の演奏で、平成6年度大阪文化祭賞本賞を受賞。このオーケストラの特長は、幅広いレパートリーを持ち、クラシック、バレエ、オペラはもとより、ポップス、スクリーンミュージックに至るまで様々なニーズに柔軟に対応できることで、このことは、ザ・シンフォニーホール500回出演(1998年9月11日、第129回定期演奏会で達成、全出演者中最多出演)となって話題を呼んだ。2000年1月から正指揮者に藤岡幸夫が就任。2001年1月から常任指揮者に国際的に活躍する飯守泰次郎が就任。指揮者にディヴィッド・ハウエル、名誉指揮者にC. A. ビュンテ、小松一彦が就任している。



茨木市合唱連盟 Ibaraki Federation of Chorus

1975年12月、加盟10団体により発足。以後、「市民音楽会～合唱のつどい」の開催をメインに、市内の各合唱団、合唱愛好者の交流のための活動を積極的に展開し、25周年を迎えた現在加盟38団体を数え、地域の音楽文化の振興に大きな足跡を残してきた。また、市民合唱団を組織しての大合唱にも早くから取り組み、朝比奈隆指揮大阪フィル、大友直人指揮大阪フィル、黒岩英臣指揮関西フィルとの「第九」、ウリエル・セガル指揮大阪センチュリー響との「グノー／荘厳ミサ」など、オーケストラとの共演も重ねてきた。2000年7月には、念願であった茨木市の姉妹都市アメリカ・ミネアポリス市への演奏旅行を行い、大きな感動をもって受け入れられた。この「メサイア」を25年の大きな成果としておくりするとともに、新世紀の幕開けを祝うものとなるよう、会長・磯野清(大阪音楽大学名誉教授)の指導のもとで、懸命に合唱練習に取り組んでいる。